

1 個人経営体（漁船漁業）

(1) 平成28年の経営収支

1 経営体当たり漁労収入は916万円で、漁獲量が減少したことにより前年に比べて6.7%減少した。

一方、漁労支出は589万円で、原油価格の低下により油費が減少したことなどから、前年度に比べて8.2%減少した。

この結果、漁労収入から漁労支出を差し引いた漁労所得は328万円となり、前年度に比べて3.8%減少した。

図1 個人経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合

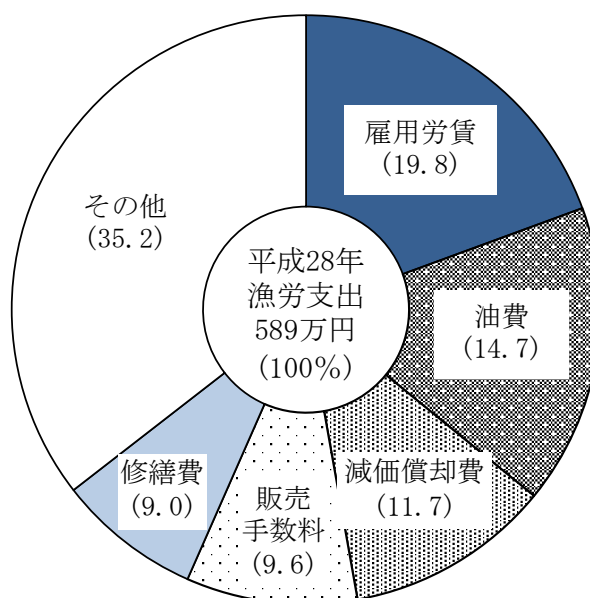


表1 個人経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区 分	平成27年	28	対前年差	対前年増減率
	千円	千円	千円	%
漁労収入	9,820	9,164	△ 656	△ 6.7
うち補助・補償金（漁業）	529	479	△ 50	△ 9.5
漁労支出	6,412	5,887	△ 525	△ 8.2
うち 雇用労賃	1,246	1,166	△ 80	△ 6.4
油費	1,061	863	△ 198	△ 18.7
減価償却費	725	686	△ 39	△ 5.4
販売手数料	600	566	△ 34	△ 5.7
修繕費	504	532	28	5.6
漁労所得	3,408	3,277	△ 131	△ 3.8
漁獲量（kg）	18,279	16,985	△ 1,294	△ 7.1

(2) 近年の経営収支の状況

1 経営体当たり漁労収入は、価格の上昇により増加した平成27年を除いて、漁獲量に応じて増減している。

一方、漁労支出は、油費に応じて増減している。

このことから、漁労所得率（漁労収入に占める漁労所得の割合）は、漁獲量の増加と油費の減少により上昇する傾向にある。

図2 個人経営体（漁船漁業：1経営体当たり）

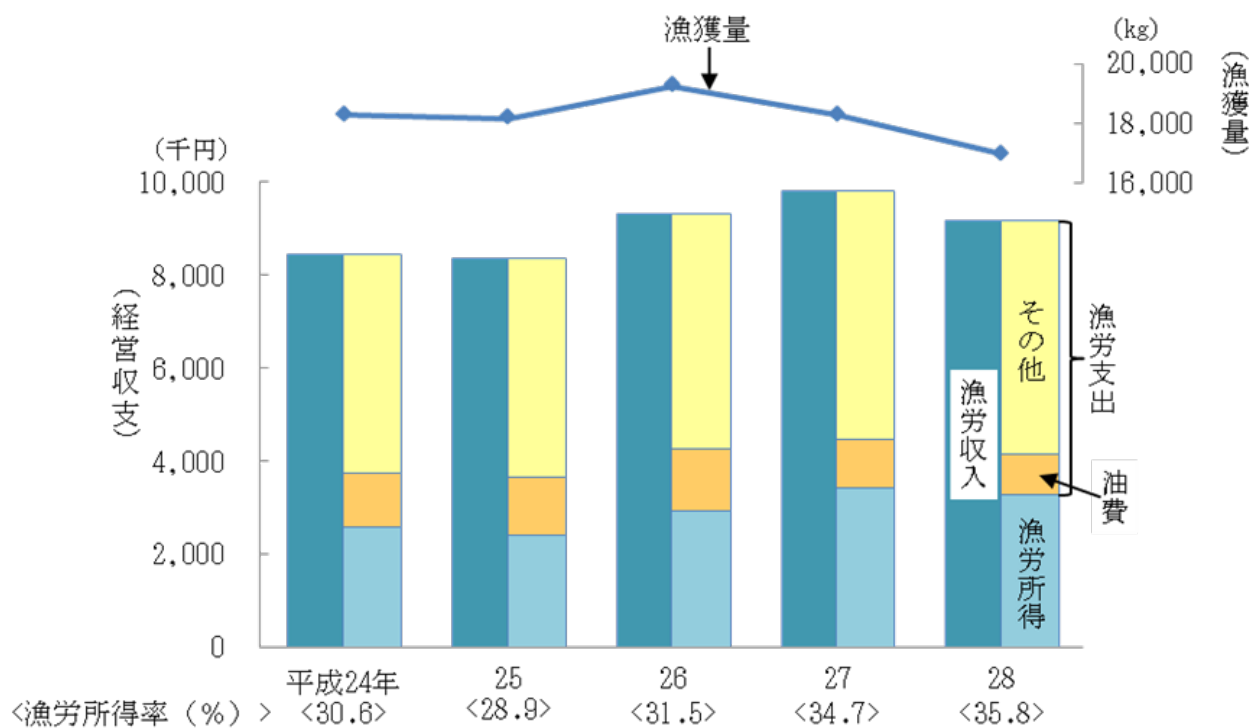


表2 個人経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支の推移

年次	漁労所得	漁労収入	補助・補償金 (漁業)	漁労支出	油費	漁獲量
平成24年	2,584	8,452	241	5,868	1,150	18,282
25	2,417	8,370	410	5,953	1,237	18,167
26	2,936	9,329	682	6,393	1,320	19,243
27	3,408	9,820	529	6,412	1,061	18,279
28	3,277	9,164	479	5,887	863	16,985

資料：農林水産省統計部『漁業経営調査報告』

注：1 東日本大震災の影響により、平成24年から28年までは福島県を含まない。

注：2 平成28年調査により、補助・補償金（漁業）については、漁労収入に含めたため、平成27年以前についても遡及して漁労収入に含めた。

2 会社経営体（漁船漁業）

1 経営体当たり漁労売上高は3億3,724万円で、価格の上昇により前年度に比べて2.9%増加した。

一方、漁労支出は3億5,455万円で、労務費が増加したことなどから、前年度に比べて5.5%増加した。

この結果、漁労売上高から漁労支出を差し引いた漁労利益はマイナス1,731万円となり、前年度に比べて905万円マイナス幅が拡大した。

なお、漁労利益に漁労外利益を加えた営業利益は1,267万円で、前年度に比べて21.6%増加した。

図3 会社経営体（漁船漁業）の漁労支出の構成割合

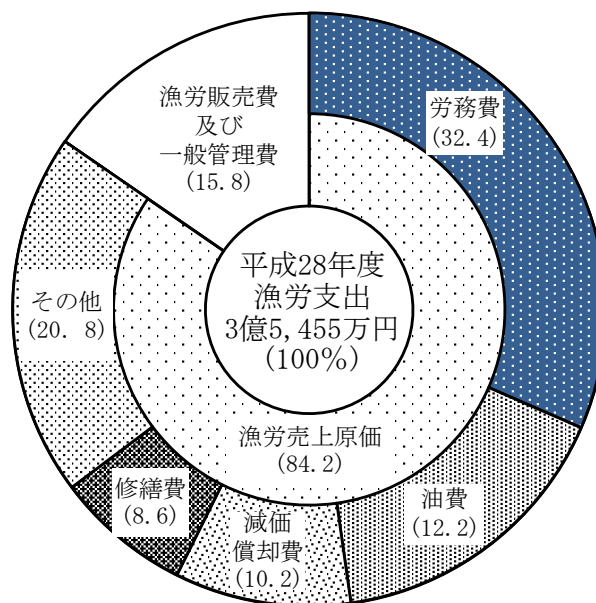


表3 会社経営体（漁船漁業：1経営体当たり）の経営収支

区 分	平成27年度	28	対前年差	対前年増減率
	千円	千円	千円	%
漁労売上高	327,699	337,238	9,539	2.9
漁労支出 (①+②)	335,955	354,546	18,591	5.5
漁労売上原価 ①	284,052	298,544	14,492	5.1
うち 労務費	105,940	114,969	9,029	8.5
油費	54,299	43,119	△ 11,180	△ 20.6
減価償却費	32,390	36,209	3,819	11.8
修繕費	24,873	30,617	5,744	23.1
漁労販売費及び一般管理費 ②	51,903	56,002	4,099	7.9
漁労利益	△ 8,256	△ 17,308	△ 9,052	nc
漁労外利益	18,672	29,973	11,301	60.5
営業利益	10,416	12,665	2,249	21.6
営業外収益	20,307	14,725	△ 5,582	△ 27.5
営業外費用	3,486	6,949	3,463	99.3
経常利益	27,237	20,441	△ 6,796	△ 25.0
漁獲量 (t)	1,788	1,781	△ 7	△ 0.4